

令和7年第4回宝塚市議会（定例会）一般質問一覧表

令和7年12月10日（水）～12月15日（月）

（場所：宝塚市議事堂）

発言順位	発言者	質問方式	発言時間	予定日時	
1	森賀宣代	一問一答式	60分	12/10 (水) 6人	9:30～10:30
2	持田ちえ	一問一答式	60分		10:30～11:30
3	中山ゆうすけ	一問一答式	60分		12:45～13:45
4	北野聰子	一問一答式	60分		13:45～14:45
5	末永やよい	一問一答式	60分		15:00～16:00
6	寺本早苗	一問一答式	60分		16:00～17:00
7	梶川みさお	一問一答式	60分	12/11 (木) 6人	9:30～10:30
8	村松あんな	一問一答式	60分		10:30～11:30
9	三宅浩二	一問一答式	60分		12:45～13:45
10	泉友紀	一問一答式	60分		13:45～14:45
11	大島千都世	一問一答式	50分		15:00～15:50
12	中野正	一問一答式	60分		15:50～16:50
13	みとみ智恵子	一問一答式	60分	12/12 (金) 6人	9:30～10:30
14	坂本篤史	一問一答式	60分		10:30～11:30
15	伊庭聰	一問一答式	60分		12:45～13:45
16	藤岡和枝	一問一答式	60分		13:45～14:45
17	桑原健三郎	一問一答式	60分		15:00～16:00
18	浅谷亜紀	一問一答式	45分		16:00～16:45
19	おだたか子	一問一答式	60分	12/15 (月) 5人	9:30～10:30
20	川口じゅん	一問一答式	60分		10:30～11:30
21	田中こう	一問一答式	60分		12:45～13:45
22	大島淡紅子	一問一答式	60分		13:45～14:45
23	北山照昭	一問一答式	70分		15:00～16:10

※各質問の予定日時につきましては、議事の進行状況により前後することがあります。

(注) 表中、議員名下の()は質問形式

順位	議員名	件名
1	森賀 宣代 (一問一答式)	<p>1 高齢者の介護予防施策の現状と介護予防手帳の導入検討について</p> <p>(1) 現行の介護予防施策の評価と課題認識について</p> <p>ア 宝塚市が行っている主な介護予防施策の現状と効果をどう評価しているか</p> <p>イ 高齢者の健康状態や生活状況、通いの場への参加状況の現状把握はしているか</p> <p>ウ 現状把握した内容を見える化する仕組みはあるか</p> <p>(2) 介護予防手帳の導入の必要性について</p> <p>ア 現在の宝塚市において、高齢者自身が自分の健康状態や生活の様子、通いの場の参加状況、将来の希望などを確認できるツールはあるか</p> <p>イ 医療機関や福祉事業所などで共通の情報共有ツールを導入する予定はあるか</p> <p>ウ 介護予防の記録とエンディングノートの機能を一体とした手帳を導入する予定はあるか</p> <p>2 トライやる・ウィーク推進事業の教育効果と今後のキャリア教育へのつながりについて</p> <p>(1) 事業の目的と位置づけの明確化について</p> <p>ア 宝塚市として、トライやる・ウィーク推進事業を、どのような目的として位置づけているのか</p> <p>イ 中学校3年間のキャリア教育の中で、トライやる・ウィークはどのような役割を担う事業としているのか</p> <p>(2) 教育効果の把握と評価指標について</p> <p>ア 生徒アンケートや振り返り等を通じて、どのような観点、指標で教育効果を把握しているのか</p> <p>イ 実施前後で、進路意識や自己理解、学習意欲等にどのような変化が見られていると分析しているのか</p> <p>ウ アンケート以外で教育効果を客観的に確認するための指標データを今後どのように整備していく考えなのか</p> <p>(3) 一過性で終わらせない仕組みづくりについて</p> <p>ア 事前指導では、どのような内容に重点を置いているのか</p> <p>イ 事後指導では、体験を将来の進路や学びにつなげるために、どのような振り返り、共有の場を設けているのか</p> <p>ウ 中学3年生以降や卒業後の進路指導に、トライやる・ウィークでの学びを生かすための仕組みをどのように考えているか</p> <p>エ 今後、体験内容の質の向上やキャリア教育全体との連携強化に向けて、どのような改善、見直しを行う考えか</p> <p>(4) P T Aを中心とする保護者に依存した事業所調整の在り方と負担軽減について</p> <p>ア トライやる・ウィークの受入事業所の開拓、調整、連絡、訪問挨拶等</p>

		<p>について、学校、教育委員会、PTA（保護者）はそれぞれどのような役割分担になっているのか</p> <p>イ PTAを中心とする保護者が担っている具体的な業務内容とその負担感について、宝塚市教育委員会としてどのように把握しているか</p> <p>ウ PTA等の負担軽減のために、今後、支援体制の強化及び「トライやる・ウィーク」推進協議会や「トライやる・ウィーク」推進委員会の在り方について検討していることはあるか</p> <p>3 事務事業評価における事業継続、廃止指標の明記について</p> <p>(1) 現行の事務の設計と課題について</p> <p>ア 現行の事務事業評価表において、事業の今後の方向性（継続、見直し、縮小、廃止）を設けていない理由は</p> <p>イ 評価結果を基に、どのような場面でスクラップ・アンド・ビルトを検討しているのか、具体的な運用状況は</p> <p>(2) 宝塚市における指標明記の是非について</p> <p>ア 宝塚市の事務事業評価において、各事業の今後の方向性を明記する評価区分や欄を新たに設ける考えはあるか</p>
2	持田 ちえ (一問一答式)	<p>1 平和の再定義と、未来を見据えた市の取組について</p> <p>(1) 平和施策の現状認識と、市としての基本的な考え方は</p> <p>(2) 平和を、日常の安心、市民の暮らしに位置づける考え方について</p> <p>(3) 平和に関する取組を、教育、防災、地域安全などと部局横断で推進する体制について</p> <p>(4) 学校における引渡し訓練、救急救命教育、安全対策など、日常安全確保に関する取組について</p>
3	中山ゆうすけ (一問一答式)	<p>1 本市の広報戦略について</p> <p>(1) 宝塚市シティプロモーション戦略について</p> <p>ア 現在も継続しているか</p> <p>イ 成果の測定は</p> <p>ウ 総括は行っているか</p> <p>エ 総括の公表は</p> <p>(2) これからの広報戦略について</p> <p>ア 計画の策定は</p> <p>イ 目標や成果指標の設定は</p> <p>ウ SNSの活用は</p> <p>2 本市が選ばれるまちであるために</p> <p>(1) シビックプライドの醸成について</p> <p>ア 18歳以上の大人に対する取組は</p> <p>イ 18歳未満の子どもに対する取組は</p> <p>(2) 宝塚観光花火大会・宝塚フェスタについて</p>

		<p>ア 現状は イ これからの方向性は</p> <p>(3) イベントへの市民参画について</p> <p>ア 現状は イ これからの方向性は</p>
4	北野 聰子 (一問一答式)	<p>1 職員の働き方改革や新たな職場風土の創設について</p> <p>(1) 「ダイバーシティー」推進の観点から、本市では多様な属性の人々で組織を構成できているか</p> <p>(2) 公正なアプローチを示す「エクイティ」の観点から、それぞれに見合ったリソースの配分や支援はできているか</p> <p>(3) 女性活躍推進のための、女性リーダーの登用・育成に向けたプログラムは用意されているか</p> <p>(4) 違いを生かす「インクルージョン」の観点から、職員がそれぞれの考えを共有し、尊重し合えているか</p> <p>(5) 働きがいのある職場づくりのために、行政としての存在意義「パーパス」を共有し、明確な目標と互いを認め合える風土の醸成が必要ではないか</p> <p>2 教職員をハラスメントから守るウエルビーイングな職場づくりについて</p> <p>(1) 学校に対しての不当な要求や暴言など、教職員の人権を脅かす行為抑止のために、全ての学校への電話機の録音機能導入はできないか</p> <p>(2) 教職員への暴行事案事例をどのように把握しているのか。また、どのように対応しているのか</p> <p>(3) 教職員をしっかりと確保し、生き生きと働き続けられるように、保護者向けの啓発文書の作成を進められないか</p> <p>(4) 宝塚市からあらゆるハラスメントを根絶するために条例や宣言などをめざしてはどうか</p> <p>3 青少年の声を市政に生かす場や機会について</p> <p>(1) 高校生・大学生年代の青少年が、自分たちが課題と考えるテーマについて、交流したり調査したり研究したりする「ユース委員会」を創設してはどうか</p> <p>(2) 心身の健康や性の悩み事等を相談できる「ユース保健室」が必要ではないか</p>
5	末永 やよい (一問一答式)	<p>1 令和6年度上下水道事業会計決算から見る宝塚市の今後の水道経営の方向性について</p> <p>(1) 上下水道事業会計の現状と今後の経営改善の方向性について</p> <p>(2) 下水道事業会計の黒字の実態と繰入金の位置づけ及び在り方について</p> <p>(3) 流域下水道維持管理費負担金の増加と市の今後の対応について</p> <p>(4) 上下水道施設等の老朽化対応とストックマネジメント計画の考え方について</p>

		<p>(5) ウォーターPPPの進捗状況と国補助金活用の見通しについて (6) 中長期的な上下水道経営の見通しと市民への説明責任について</p> <p>2 パークマネジメント計画の実効性・整合性について (1) 公園区計画について ア 進捗状況と仕様書履行について イ 「目的のズレ」について (2) 街路樹管理計画について ア 街路樹点検調査について イ 剪定間隔が不定期の路線問題と架空線障害について (3) 公園区計画及び街路樹管理計画の財源確保について</p>
6	寺本 早苗 (一問一答式)	<p>1 P F A S 問題に関する対応方針について (1) P F A S 問題に関する市の対応方針について (2) 市民の健康影響調査の必要性について (3) 市民への情報公開と説明体制について (4) 予防的対応の検討について (5) 国・県への働きかけについて</p> <p>2 人工芝をめぐる環境問題とP F A S 汚染について (1) 人工芝施設におけるマイクロプラスチック流出抑制対策は十分か (2) 人工芝と充填剤によるP F A S 汚染に対する認識 (3) 耐用年数を迎える人工芝の張り替え改修計画について</p> <p>3 犯罪被害者支援施策の今後について (1) 本市の犯罪被害者支援事業の現状と課題について (2) 犯罪被害者等の生活再建や再犯防止について</p>
7	梶川 みさお (一問一答式)	<p>1 小林駅周辺環境整備について (1) これまでの経過と現時点での課題は (2) 実施可能な事項と不可能な事項を整理し、早急に実施可能な計画を策定することについて (3) 最終の地元協議で確認した事項と検討した事項の結果を明らかにし、地元に説明することについて</p> <p>2 聞こえない騒音「低周波音」に悩む市民に救いの手を (1) 市は低周波音の被害があることを知っているか (2) 低周波音の被害者を救済する方法はないか (3) 市で低周波音を測定してもらえないか (4) 市から発生原因者に「自主的な対策」を講じるよう働きかけてもらえないか</p>

8	村松 あんな (一問一答式)	<p>1 職員の働き方改革について</p> <p>(1) 働き方改革の3本柱に対する市の認識と取組</p> <p>ア 週休3日制やフレックスタイム制、テレワーク等の柔軟な勤務制度の導入必要性をどう考えているか</p> <p>(2) 生成AIの活用と技術革新に対応できる職員の育成</p> <p>ア 技術革新とリスクリギングを一体的に進めることは、持続可能な行財政経営を実現するために必要であるという認識はあるか</p> <p>イ 技術革新（生成AI等）の導入に向けた検討状況は</p> <p>2 外国人の国民健康保険税収納対策について</p> <p>(1) 現状把握と法改正を踏まえた準備</p> <p>ア 直近の外国人加入者の国民健康保険税収納率は</p> <p>イ 法改正により永住者等の在留資格取消事由に「公租公課の故意の不履行」が追加されたことを受け、現時点でどのような準備を行えているか</p> <p>3 市民と市長の対話ひろばについて</p> <p>(1) より実りある対話にするためには</p> <p>ア 参加者の年代や職業、地域など属性に関するデータの集約、分析は行っているか</p> <p>イ 1会場当たり質問することができた平均人数は</p> <p>ウ 来年度も開催を継続していく意向か</p>
9	三宅 浩二 (一問一答式)	<p>1 デジタルの活用について</p> <p>(1) DX推進ビジョンについて</p> <p>ア 現在の進捗状況</p> <p>イ 今後の取組</p> <p>(2) 電子投票について</p> <p>ア 他市の状況</p> <p>イ 本市の検討状況</p> <p>(3) 窓口対応の円滑化</p> <p>ア 軟骨伝導イヤホンの導入</p> <p>イ 多言語翻訳字幕ディスプレイの導入</p> <p>(4) 情報格差（デジタルディバイド）について</p> <p>ア 情報格差解消への取組は</p>
10	泉 友紀 (一問一答式)	<p>1 公営住宅の将来像について</p> <p>(1) 県営・市営住宅の現在の位置づけについて</p> <p>(2) 生活拠点としての商業・医療・福祉・子育て支援・交流機能など、複合化の現状と今後の方向性について</p> <p>(3) 県との協議状況と、県営住宅の将来方針に関する情報共有の在り方について</p>

	<p>2 住まい・健康・移動・地域支援を統合した政策推進体制について</p> <p>(1) 健康づくりと地域支援を組み合わせた他市の取組の評価及び本市での展開可能性について</p> <p>(2) 「住まい・健康・移動・地域支援」を横断的に検討する府内体制の構築について</p> <p>3 広報板廃止に伴う情報アクセス支援について</p> <p>(1) 広報板撤去後のデジタルへの移行が難しい方への情報提供の支援の現状、課題、今後について</p> <p>(2) 情報取得に必要な基礎操作を学べるスマートフォン講座の現状、課題、今後について</p> <p>(3) スマートフォン講座と連動した、市LINE公式アカウント・防災情報等のデジタル登録支援の取組の現状、課題、今後について</p>
111	<p>1 保育事業の整備及び運営について</p> <p>(1) 乳幼児期の保育・発達支援における「質の確保」と市の責任について</p> <p>ア 地域限定保育士制度一般化への市の対応</p> <p>イ 私立保育所における研修・支援体制</p> <p>ウ 公立・私立の隔たりのない協議体制、連携の強化について</p> <p>エ 障がい児受入れを含めた私立園の実情把握と、市としての支援方針について</p> <p>2 スポーツを軸としてのイベント開催について</p> <p>(1) スポーツイベントと商工・観光・文化との連携について</p> <p>ア 現在のスポーツイベントにおける他部局・関係団体との連携実績について</p> <p>イ スポーツ施策を「健康施策」から「観光・産業振興」へ広げる市の方針について</p> <p>ウ 観光・産業・文化振興の政策（花のみち～たからば周辺のマンガ・アニメ聖地化構想等）とスポーツ施策を連動させた全市的プロモーションの可能性についてへの周知策</p> <p>(2) スポーツを軸とした地域活性化モデルと行政改革の方向性について</p> <p>ア 市長が示した「観光・産業・文化の振興」との政策パッケージの中で、スポーツ分野が果たす役割について</p> <p>イ スポーツ、観光、文化（マンガ・アニメ等コンテンツ）、商工をつなぐ部局横断の政策推進体制の必要性について</p> <p>ウ これからの行政改革（政策の重点化・選択と集中）の中で、スポーツを稼ぐ力を持った施策として再構築する方向性について</p> <p>3 防犯カメラ設置と維持管理に対する市の姿勢について</p> <p>(1) 安全・安心のまちづくりに向けた防犯対策について</p> <p>ア 自治会等が自主的に防犯カメラを設置する場合の設置補助について</p>

		<p>イ 本市における防犯カメラ維持管理費の支援制度創設の考え方について ウ 危険箇所への優先的な防犯対策としての「安全・安心カメラ」の更新方針について</p>
1 2	中野 正 (一問一答式)	<p>1 都市計画法に定める開発と自治体独自の運用について (1) 開発における周辺住民とのトラブルを起こさない市の取組は</p> <p>2 農林水産省の認定制度 SAVOR JAPAN (セイバージャパン) の活用について (1) SAVOR JAPAN (セイバージャパン) の認定を取る意味について (2) SAVOR JAPAN (セイバージャパン) の認定の活用について</p> <p>3 拡充される重点支援地方交付金について (1) 拡充される重点支援地方交付金についての活用について</p>
1 3	みとみ智恵子 (一問一答式)	<p>1 誰もが生き生きと暮らせるまち、宝塚 (1) 介護保険制度の現状と課題について ア 訪問介護の報酬引下げによる影響 イ ケアマネジャーの成り手不足と制度の課題 ウ 65歳介護保険サービス移行について (2) 子どもの「遊ぶ権利」と居場所づくりを宝塚市の子育て施策にどう生かすかについて ア 子どもが主体となる遊び場づくりの理念について イ 登校拒否(不登校)・行き場のない子どもたちの受皿としての居場所機能について ウ 安全配慮と自主性の両立について エ 専門職(プレイワーカー)配置の必要性について オ 子どもの居場所を「点」から「面」へ広げる視点について (3) 手塚治虫が描く「未来へのまなざし」を宝塚市政にどう生かすかについて ア 作品が示す「命の尊重」「多様性尊重」をまちづくりにどう反映するのか イ 2028年の生誕100年に向けた具体的なにぎわいづくりと、その効果の見通し ウ 手塚治虫記念館の価値向上と、地域の回遊性の創出について エ 若い世代・子どもたちが作品に触れる機会の拡充 オ 市内産業・文化事業者との連携による新たな創造的取組について</p>
1 4	坂本 篤史 (一問一答式)	<p>1 共生社会の実現に向けて (1) 誰もが利用しやすいトイレへ ア 庁舎内男性トイレに設置されたサニタリーボックスについて</p>

		<p>(ア) 導入経緯は (イ) 設置箇所数は (ウ) 利用状況は イ 補助便座設置や乳幼児への対応は (2) 一層の障がい理解の推進を ア 本市における障がい理解への取組は イ ヘルプマークの配布、活用、周知の状況は</p> <p>2 予防医療の充実を</p> <p>(1) インフルエンザ予防接種助成の拡充 ア 宝塚健康福祉事務所管内の感染状況について イ 市内小・中学校の感染状況について ウ インフルエンザ定期予防接種の対象者について (2) 男性へのH P Vワクチン接種について ア 本市における男性へのH P Vワクチン接種助成についての見解は</p> <p>3 災害対策について</p> <p>(1) 宝塚大劇場や阪神競馬場、清荒神など市外からの来訪者が多い場所での災害対策について ア 来訪者が多い地域での災害発生時に市が想定している対応は イ 阪神競馬場と災害協定は結ばれているのか</p>
1 5	伊庭 聰 (一問一答式)	<p>1 医療・福祉給付の公正性と持続可能性を高めるための取組</p> <p>(1) 医療・福祉給付制度の「公正性と実効性」を確保するための現状認識について (2) 医療費の「適正化」と必要な医療を守る仕組みの推進について (3) レセプト分析と適正服薬推進による「必要な医療の確保」と「不必要的医療の抑制」について</p> <p>2 仁川北岸踏切道の歩行者空間の獲得について</p> <p>(1) 仁川北岸踏切道の歩行者空間の獲得について調整はどうなっているのか</p> <p>3 盛土規制法の運用について</p> <p>(1) 令和7年4月1日より、盛土規制法の運用が開始されましたが、新法における改正点は (2) 昨年、発生したストックヤードの事故内容と行政機関の対応について</p>
1 6	藤岡 和枝 (一問一答式)	<p>1 官・民が連携してSDGsに貢献を～おいしいがもったいない お得にSDGs～</p> <p>(1) もったいないを減らすために、お得にパンを購入できる「SDGsロッカー」の設置を</p>

		<p>2 全ての子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>(1) 5歳児健康診査の実施を</p> <p>ア 5歳児発達相談の成果と検証について</p> <p>イ 5歳児健康診査実施の意義と目的について</p> <p>(2) 新生児聴覚スクリーニング検査公費助成の対象の拡大について</p> <p>ア 本市における新生児聴覚検査公費助成の実施状況</p> <p>イ 全ての新生児を対象とすることについての効果と課題は</p> <p>3 これからの学校の在り方について</p> <p>(1) 学校の編成について</p> <p>(2) 小中一貫教育の取組について</p> <p>(3) 学校を核としたまちづくりについて</p>
1 7	桑原 健三郎 (一問一答式)	<p>1 国や県からの照会業務について</p> <p>(1) 過去3年間の状況について</p> <p>(2) 課題と改善策について</p> <p>2 壱斐地域に建設予定の福祉の拠点となる新施設について</p> <p>(1) 施設の基本構想について</p> <p>(2) タイムスケジュールについて</p> <p>(3) 資金協力に関する覚書の詳細について</p> <p>3 市長の政治活動と公職選挙法・政治倫理の遵守について</p> <p>(1) 市長の政治活動と公務の線引きに関する基本的認識について</p> <p>(2) 後援会活動における市長肩書の使用と地位利用の適否について</p> <p>(3) 後援会による参加費優遇措置が公職選挙法が定める寄附の禁止に抵触する可能性について</p> <p>(4) 政治家志望者の入塾募集が市議会議員選挙及び二元代表制に与える影響について</p>
1 8	浅谷 亜紀 (一問一答式)	<p>1 住んでいることが誇れるまちに</p> <p>(1) 宝塚市の未来に向け、市民のシビックプライドを醸成する必要性は</p> <p>(2) シビックプライドを自ら育もうとする市民を増やすために何ができるか</p> <p>(3) 市は財政再建を図りつつも、まちを愛し活動する市民の動きを止めない方策について検討されているか</p> <p>2 「こころ」も「からだ」も豊かになるまちを観光に</p> <p>(1) 市立病院建て替えを機に、ウェルネスツーリズムを促進する方策は</p> <p>(2) 持続可能な観光振興に向けた環境整備として、観光に携わる関係者の意形成と人材の育成は図られているか</p> <p>3 「8020運動」で生涯にわたって健幸に</p>

		<p>(1) 国民皆歯科健診のメリットをどのように考えるか (2) 宝塚市歯周病検診の対象年齢拡大を</p>
19	おだ たか子 (一問一答式)	<p>1 西谷 新たな交通手段について (1) 阪急バス武田尾線の廃止に伴う代替交通検討のプロセスと実施までのスケジュールは</p> <p>2 特認校の西谷小学校、西谷中学校について (1) 特認校の現状について。全学年対象となったが、学年別児童生徒数と昨年度の特認校の応募数及び入学者数は (2) 幼稚園、小・中学校のスクールバスの予定は (3) 国際バカロレア教育とは。認定プロセスは</p> <p>3 市内への移住・起業の促進について (1) 西谷地域への移住促進策で、市街化調整区域の弾力的運用により、西谷の裏山などに大企業の誘致はできないのか (2) 歳入増を目指し、雇用や移住を生むための企業誘致では物流倉庫誘致などは検討可能か</p> <p>4 ふるさと納税・企業版ふるさと納税について (1) ふるさと納税で宝塚市が好調との一部報道があったが、前年度実績は (2) 企業版ふるさと納税前年度実績と内閣府への掲示依頼のその後は。市外企業への呼びかけなどは</p>
20	川口 じゅん (一問一答式)	<p>1 不登校の保護者に寄り添う支援について (1) 5歳児の発達における支援について (2) 進級・進学時の連携について (3) 学びを止めないためのＩＣＴ活用について (4) 不登校の保護者の会の取組について</p> <p>2 部活動の地域展開について (1) 学区別の地域クラブ数と活動種目は (2) 保護者説明会の実施回数と参加人数は</p>
21	田中 こう (一問一答式)	<p>1 市民の「いのちとくらし」を守るために (1) 中小業者支援を強め、地域を元気に ア 地域経済循環を促進する施策の現状と今後の取組について イ 住宅リフォーム・商店リフォーム補助制度の充実について ウ 小規模修繕工事業者登録制度の実績と評価、積極的活用に向けた課題と取組 (2) 今後の民間委託の在り方 ア 公共施設（建築物）包括管理業務委託の現状と課題、今後の方向性に</p>

		<p>について</p> <p>イ ウォーターPPP導入に当たり、市はどのようなリスクや課題を認識しているのか</p> <p>(3) 住居確保給付金について</p> <p>ア これまでの支給実績について</p> <p>イ より積極的な活用に向けた取組について</p> <p>(4) 人と動物が共生する社会を目指して</p> <p>ア ペットの殺処分に対する本市の見解について</p> <p>イ 多頭飼育崩壊・飼育放棄への対応について</p> <p>ウ 動物用火葬炉の現状について</p> <p>エ ペット火葬・供養に対する市の基本姿勢と市民からのペット火葬の直接受付について</p>
2 2	大島 淡紅子 (一問一答式)	<p>1 不登校傾向の子どもたちへの支援は</p> <p>(1) 不登校及び不登校傾向の子どもたちの現状は</p> <p>(2) 上記子どもたちの市内の居場所は把握しているか</p> <p>2 障がいのある人が宝塚市で最期まで自分らしく暮らすために</p> <p>(1) 障がい者相談支援の現状と課題は</p> <p>(2) 高齢障がい者の相談の現状は</p> <p>(3) 障がいのある人のための市内の短期入所施設の現状は</p> <p>3 学ぶ権利の場である社会教育施設としての公民館の活用は</p> <p>(1) 指定管理者制度導入の功罪は</p> <p>(2) 指定管理者と市の運営に関するすみ分けは</p>
2 3	北山 照昭 (一問一答式)	<p>1 市民の声から</p> <p>(1) 宝塚市立スポーツセンターの使用料について</p> <p>(2) 中山台コミュニティセンター前の横断歩道について</p> <p>2 水道行政について</p> <p>(1) 自己水の原価及び県営水道・阪神水道の受水費について</p> <p>(2) 保有資産である浄水場跡地の有効活用について</p> <p>3 「財政見通し」について</p> <p>(1) 「財政見通し」を作成される目的について</p> <p>(2) 近年、資材費や労務費などが高騰してきているが、「財政見通し」の中に含まれているのか</p> <p>(3) 物価高などにより、公共施設（学校など）の更新、改修工事への多大な影響が予測されますが、「財政見通し」の中に反映されているのか</p> <p>(4) 最低賃金制度や人事院勧告により、職員の人工費がアップしてきているが、「財政見通し」の中に含まれているのか</p>

